

令和4年度 自己評価報告書

学校法人 フレンド恵学園 認定こども園 浦河フレンドようちえん

- 1 本園の教育方針 ・ 自然を愛する教育・自由・貢献
- 2 本年度重点的に取り組む目標 ・ 3施設の連携強化
 ・ 野外遊びの進化

3 評価項目の達成及び取り組み状況

| | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|---|----------|----|---|
| 1 | 3施設の連携強化 | B | 「うらここ」との連携は定着をし、定期的なケース会議を行う事が出来ていたが、「めぐハウス」に関しては事業所の閉所に伴い連携強化の目標は達成されなかった。 |
| 2 | 野外遊びの進化 | A | 自然体験担当者を始め、積極的に研修会に参加し、又、職員での環境整備も進み、自園のフィールドである「かしわの森」での活動に大きな進化があった。 |

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4 総合的な評価結果

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | 今年度、新園舎に移行する事により、自園で所有する「かしわの森」を日々の保育のフィールドにすることができ、より野外遊びを進化することができた。職員も環境整備をしながら試行錯誤し保育に取り組んでいた。 |

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5 今後取り組む課題

| | 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|---|-----------|---------------------------------------|
| 1 | 食育の推進 | ・ 自園敷地内での畑による野菜の栽培、収穫、調理 ・ 収穫祭 |
| 2 | 野外遊びの進化 | ・ 森の整備 ・ 保護者や地域の人たちとの交流を兼ねた整備やイベント |
| 3 | SDGsの取り組み | ・ 遊び場である海、川、森の清掃等 |